

公開情報資料

| | | |
|-------|---|--|
| 整理番号 | 2019.07-4 | |
| 研究課題名 | ICUにおける早期リハビリテーションの効果と課題 | |
| 研究期間 | 2016年4月1日～2019年3月31日 | |
| 研究目的 | 岡山赤十字病院において ICU 入室患者に対する早期リハビリテーションが、ICU 在室日数や退室時基本的生生活動作に与える効果を検証すること、および ICU 入室患者に対し、入室後 48 時間以内のリハビリテーション開始を促進あるいはよく壊死する因子を明らかにすることを目的とする。 | |
| 研究方法 | 研究対象範囲 | 上記研究期間に岡山赤十字病院 ICU に入室した患者 |
| | 利用する情報等 | 下記の臨床情報を電子カルテ及び麻酔科や理学療法データベースより取得する。 基本属性：年齢、性別、ICU 在室期間、入院期間、入院主科、入院疾患 臨床所見：重症度（Apache II スコア）、鎮静状態（RASS）、鎮痛、呼吸（人工呼吸器含む）、循環、基本的生生活動作、スタッフ（医師・看護師・理学療法士など）の充足状況（入室した曜日など）、検査や処置の予定 治療：人工呼吸器の有無、昇圧剤など リハビリテーション：気管、内容 |
| | 利用方法 | 統計ソフトを使用し、ICU 在室日数あるいは退室時日常生活動作を従属変数、早期リハビリテーションの開始時期、総時間数、臨床所見などを独立変数として重回帰分析を行う。 また、入室後 48 時間以内にリハビリテーションを開始できたかできなかったかを従属変数、調査項目に挙げた所見を独立変数として多重ロジスティック回帰分析を行う。 |
| | 他機関への提供 | 解析の一部を岡山県立大学で行う。 このため対応表のない匿名化情報を岡山県立大学に提供する。 |
| 研究責任者 | 岡山赤十字病院 看護師 大村正行 | |
| 問合せ先 | 岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。 | |